

令和6年3月26日

気仙沼市議会議長
鈴木 高 登 様

気仙沼市議会議員定数のあり方に関する審議会
会 長 峯 浦 康 宏

気仙沼市議会議員定数のあり方について（答申）

令和5年4月28日付け気議第77号で諮問があった標記の件について、本審議会にて慎重に調査・審議した結果、下記のとおり結論を得たので、答申します。

なお、この結論に至った審議経過及び理由等については、別添のとおりです。

記

1 結論

現行の議員定数は、速やかに削減することが妥当と考えられる。併せて、議員定数見直しに関する基本的な考え方を定めることを検討するとともに、市民の声の把握や議員構成の多様性の確保などについて検討することが望ましいと考えられる。

2 要望

今後、議会において次期の議員定数を定めるに当たっては、市民意見の把握に特段の御配慮をお願いしたい。